

計画の実現に向けて
(実効性の担保)

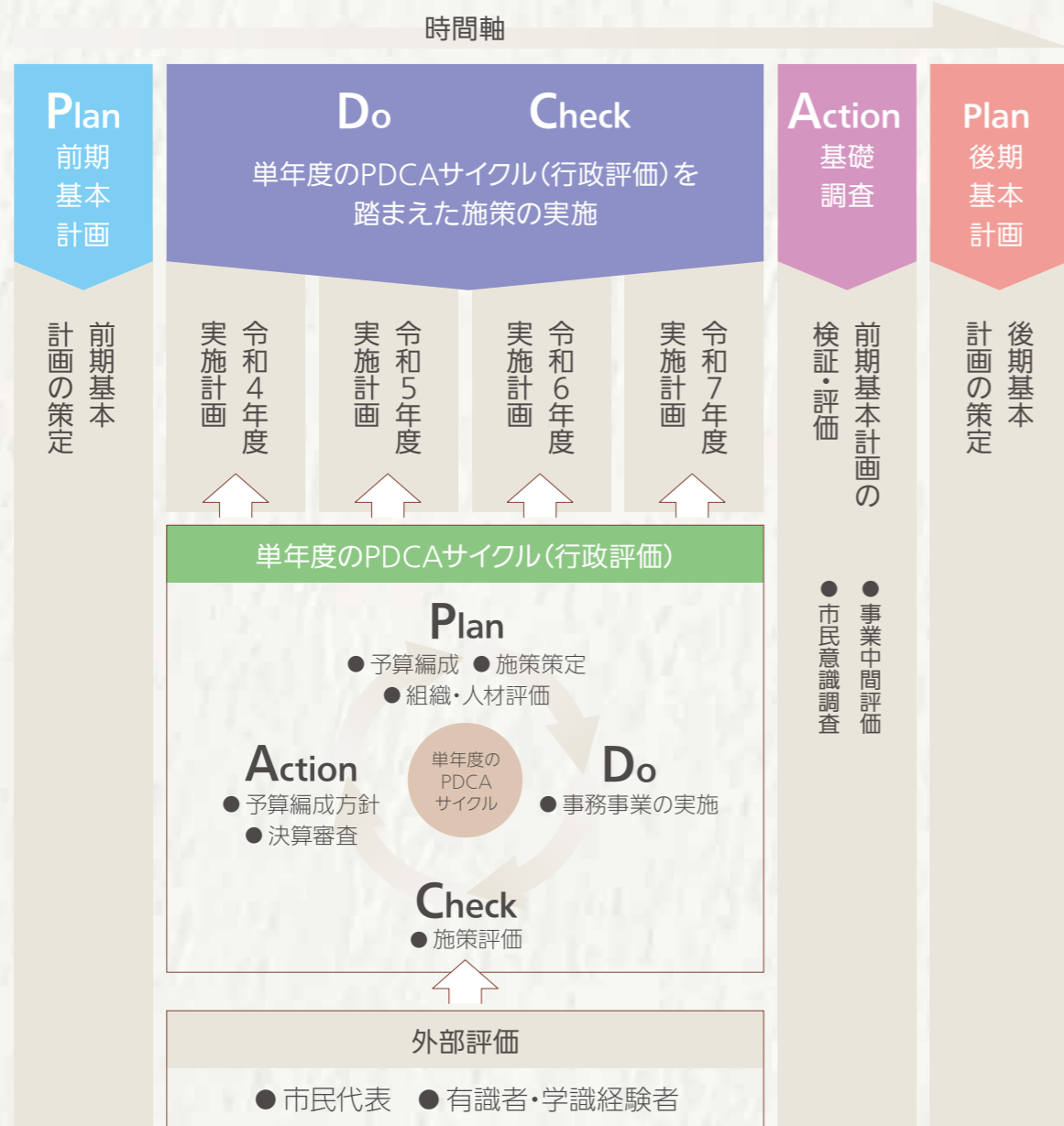
PDCAサイクルによる 進捗管理

計画を推進するためには、
PDCAサイクルを
うまく回していただくことが
重要だよ！



第五次浦添市総合計画では、総合計画を実効性のある計画として推進するために、計画の進捗状況を定期的にPDCAサイクルによって、把握、分析し、その結果をまちづくりの次の取り組みに活かしていきます。

前期基本計画のPDCAサイクル



第五次浦添市総合計画(概要版)

発行年月: 2021(令和3)年3月
発行: 浦添市
編集: 企画部企画課
〒901-2501 沖縄県浦添市安波茶1丁目1番地1号
TEL: 098-876-1234(代表)

もっと詳しく
総合計画を
知りたくなった人は、
ホームページも
チェックしてみよう！



浦添市総合計画
<http://www.city.urasoe.lg.jp/>



第五次 浦添市総合計画 2021→2030

概要版

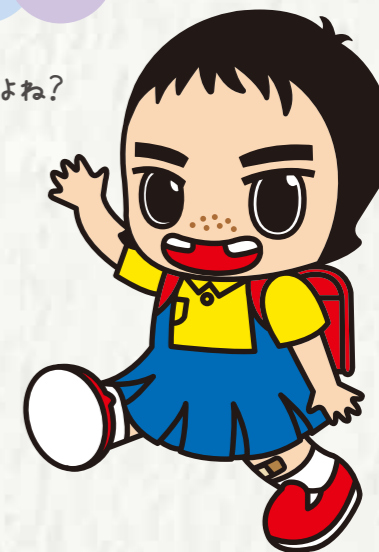


一緒に
第五次浦添市総合計画を
見ていこう！

教えて! 第五次浦添市総合計画

「第五次浦添市総合計画」と言われても、よくわからない言葉ですよね?
この冊子では、第五次浦添市総合計画のことを、
わかりやすく理解できるように、「誰が作っていて」「どんな目的で」
「市民一人ひとりにどんな関係があるのか?」
などについて説明をしています。

案内役は、ただこキッズファースト宣言大使の
マスコットキャラクターを務める「ただ子」です!

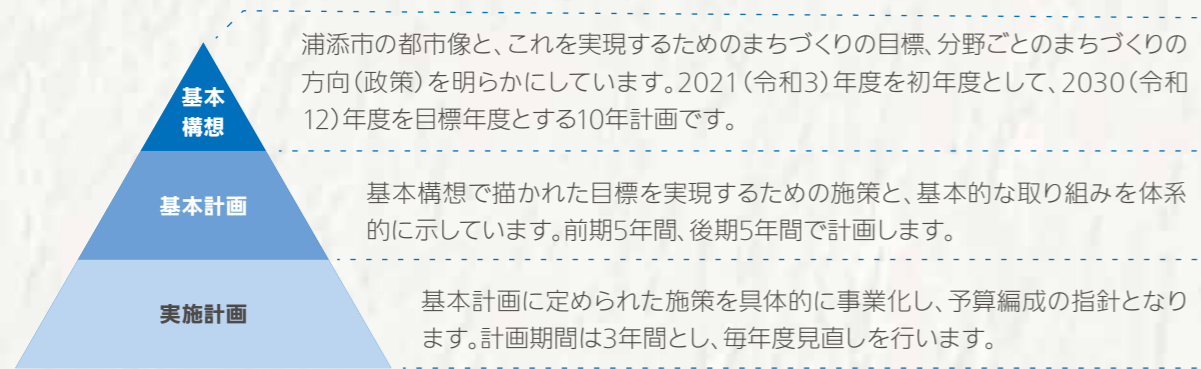


総合計画とは？

第五次浦添市総合計画の 目的と構成と期間

第五次浦添市総合計画は、本市の将来を展望するまちづくりの基本となる計画です。本計画の目的は、理想とする浦添の姿をめざし、計画的なまちづくりを進めていくことです。そのために、社会の動きや市民のニーズなどを踏まえ、浦添市の将来像を描き、長期的、総合的なまちづくりの目標を示しています。

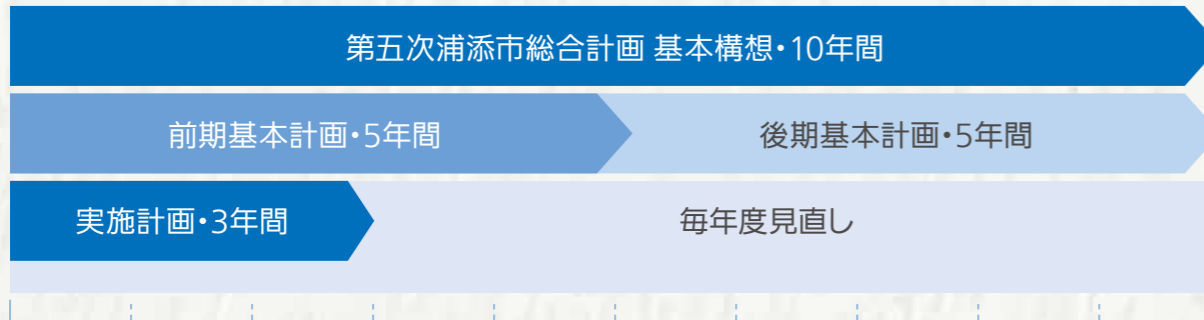
浦添市第五次総合計画は、目標とその実現に向けた取組みの方針・内容をわかりやすく示すため、基本構想・基本計画・実施計画の3層で構成しています。



基本構想の計画期間は、2021(令和3)年度から、2030(令和12)年度までの10年間とし、「基本計画」は、前期計画を2021(令和3)年度から2025(令和7)年度の5年間、後期計画を2026(令和8)年度から2030(令和12)年度までの5年間の計画期間とします。

また、実施計画は3年間の計画期間とし、毎年度見直しを行うものとします。

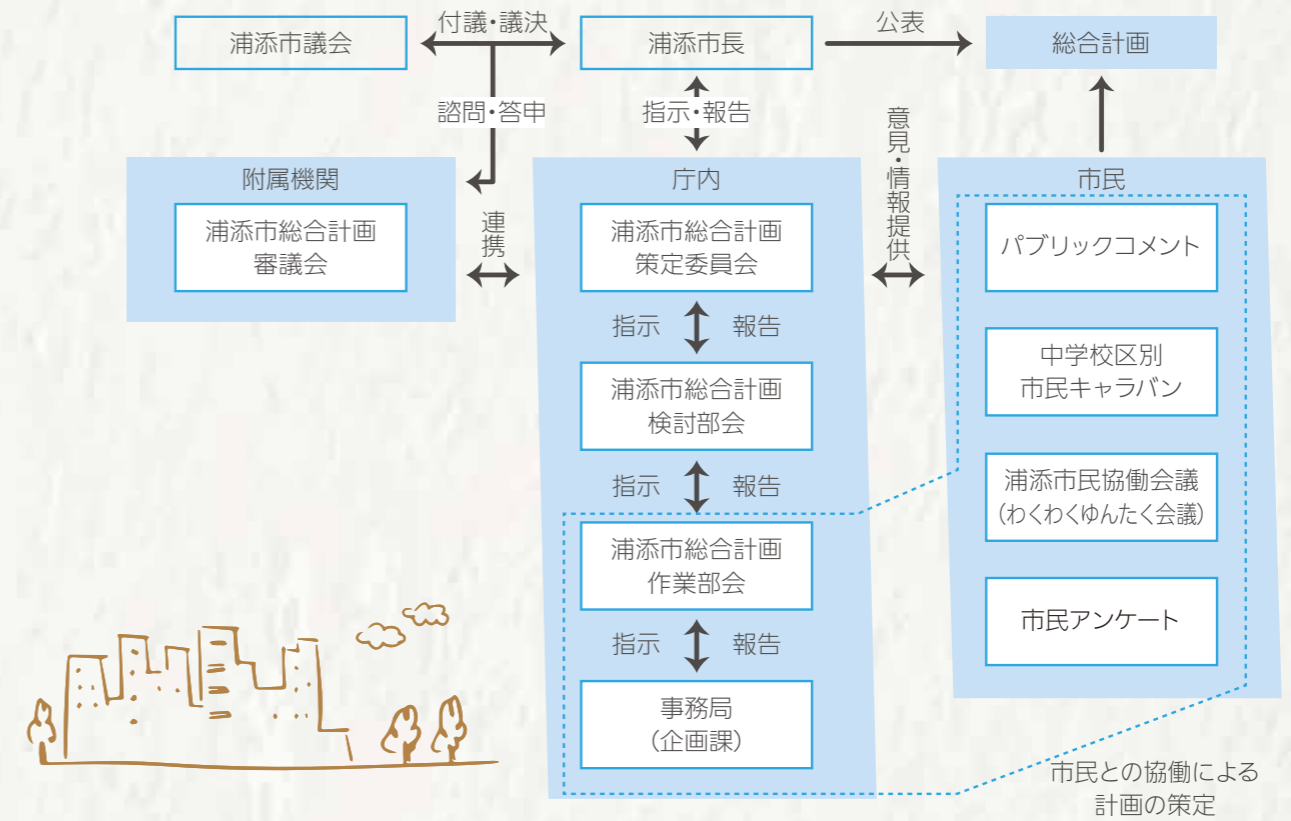
2021 年度 (令和3)	2022 年度 (令和4)	2023 年度 (令和5)	2024 年度 (令和6)	2025 年度 (令和7)	2026 年度 (令和8)	2027 年度 (令和9)	2028 年度 (令和10)	2029 年度 (令和11)	2030 年度 (令和12)
---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	----------------------	----------------------	----------------------



どのように作ったの？

市民との協働による 計画の策定

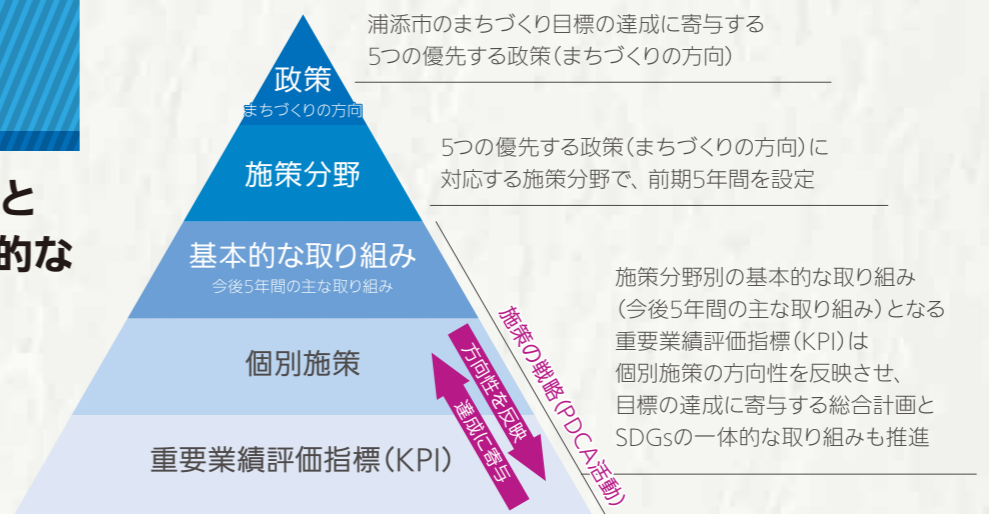
第五次浦添市総合計画は、浦添市総合計画条例に基づいて策定しています。条例には、「市民との協働によって策定し、又は変更するものとする。」と明記されており、市民のみなさんと一緒に策定した計画に基づいて、まちづくりを進めていきます。



前期基本計画の 構成内容

前期基本計画と SDGsの一体的な 推進

第五次浦添市総合計画・前期基本計画は、SDGsの目標も踏まえて、国際社会全体の開発目標の達成に寄与していきます。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS





基本構想

1. 人と歴史を活かす未来創造都市 ～みんながワクワクするスマートシティ※～

都市基盤が充実し、産業や経済、地域文化等について、広く情報が発信されたことによる交流などのにぎわいは、都市の魅力を一層高めます。

私たちは、琉球王統発祥の地として、大交易時代の扉を開いた輝かしい歴史を誇りにしつつ、未来への希望と活力がみちあふれ、市民一人ひとりが豊かさを実感できるまちづくりを進める必要があります。

市民からは、「市民が愛し、訪れる人が魅せられるような、ICTを活用したみんながワクワクするまち」と「多様な市民の可能性を引き出す産業の支援や雇用の仕組みづくりを進めること」への期待の声があります。

そのため、市民生活を支える産業の振興と雇用・労働環境の充実を図りつつ、地域の歴史・文化・芸能の保存と活用に資する観光との融合も進めながら、それらを支える都市基盤の充実も図り、西海岸地域をはじめ、本市の有する資源と可能性を活かした、物流・生産・産業交流などの経済活動が展開される、「人と歴史を活かす未来創造都市」をめざします。

※スマートシティ：「都市の抱える諸課題に対して、ICT等の新技術を活用しつつ、マネジメント（計画、整備、管理・運営等）が行われ、全体最適化が図られる持続可能な都市または地区」（出所：スマートシティの実現に向けて【中間とりまとめ】平成30年8月国土交通省都市局）

2. 世界にはばたく多文化交流都市 ～生きる力を育み、誇りと愛着のもてるまち～

本市は、てだこホールや美術館、国立劇場おきなわ、国際協力機構沖縄センター（JICA沖縄）などの市民の文化・芸術・交流活動を支える施設が充実するなかで、その機能を十分に活かし、市民文化の充実したまちづくりを進めることが求められています。

また、地域と学校がパートナーとしてともに子どもを育て、ともに地域を創るという理念にたち、地域の教育力を向上し、持続可能な地域社会をつくることも求められています。

輝く太陽のように、未来を拓く子どもたちのたくましいエネルギーと、市民一人ひとりの自己実現のエネルギーが、まちづくりの原動力となります。

まちづくりの主役である市民の明るい未来を展望し、市民や事業者、様々な機関・団体等が連携しながら、地域全体で学び育ちあう教育協働を進め、自らの地域の歴史・文化・平和への深い認識と、国際的な広い視野をもち、主体的な交流と活動の和を広げていく、「世界にはばたく多文化交流都市」をめざします。

3. やさしさあふれる健康福祉都市 ～ともに生き、支え合う・認め合う心豊かなまち～

市民の平均年齢が若く、全国に比べて高い出生率を誇っている本市においても、少子・高齢化は進展しており、高齢者や障がい者が健康で自立した生活をおくるための施設や施策等の整備、安心して子どもを生み、地域の中で子育てする喜びを実感できるよう、妊娠・出産・子育てを切れ目なく支える、子どもを育てやすい環境づくりが必要となっています。

また、市民の生活習慣病の予防と改善、市民自身や地域単位での自主的な健康づくり活動等を促す環境づくりや食生活の改善など、市民の健康に関する課題は山積しており、健康寿命の延伸に向けた取り組みが必要となっています。

このようななか、すべての市民がやさしさにあふれ、生活環境や心身の状況に関わりなく、いきいきと自己実現が可能となるよう、ともに生き、支え合う・認め合う福祉文化を醸成していく必要があります。

そのため、保健・医療・福祉・介護・予防・生活支援等のサービスの充実と、自助、互助、共助、公助の連携によって、生活全般にわたる環境の整備が行き届いた、誰もが安心して健やかに、夢をもって暮らし続けることのできる世界報（ゆがふ）社会（ゆー）※、「やさしさあふれる健康福祉都市」をめざします。

※世界報（ゆがふ）社会（ゆー）：すべての市民の人間性が尊重され、ふれあいや交流をもちながら、ともに支え合い、自立していきいきと生活できるような世の中をいう。

4. 安全安心でやすらぎにみちた快適環境都市 ～自然と共生するやさしい美らまち～

地球規模の環境問題は年々深刻さを増しており、都市化が進む本市でも、自然環境との調和はますます重要なテーマになっています。

私たちは、自然の摂理とその有限性を認識するとともに、輝く太陽のもと、西海岸に広がる青い海や市内を流れる河川、由緒あるグスクなど、浦添の風土を活かし、自然とふれあえ、歴史文化と調和した、快適で美しいまちづくりを進める必要があります。

市民からは、自然と共生するやさしい美らまちの実現のために、市民と行政が自分事として一緒に考え行動していると実感できる取り組みへの期待もあります。

そのため、安全で安心して快適に暮らせる質の高い生活環境をつくり、世代をこえてその恩恵を安定して享受することができるよう、私たちが住み、働き、憩い、学んでいる身近なところから、「安全安心でやすらぎにみちた快適環境都市」をめざします。

次期総合計画は、あらゆる多様性を認め、お互いに尊重しあう、すべての市民が幸せを感じ共生の精神を大切に、「わくわくする浦添市」を目指し、多くの市民と協働で策定し、市民が身近に感じる計画にするため、「浦添市協働会議」（わくわくゆんたく会議）を開催して、5つのまちづくりの方向性（政策）を策定しました。

5. ひと・まち・未来が輝く市民協働都市 ～多様性を認め合い、重ね合う小さな輪が大きな輪になるまち～

社会経済情勢が大きく変化する中、市民が自らの地域の課題やニーズの多様化を認識し、情報の共有を図り、地域問題の解決や地域としての価値を創造していく「地域力」の重要性が高まっています。

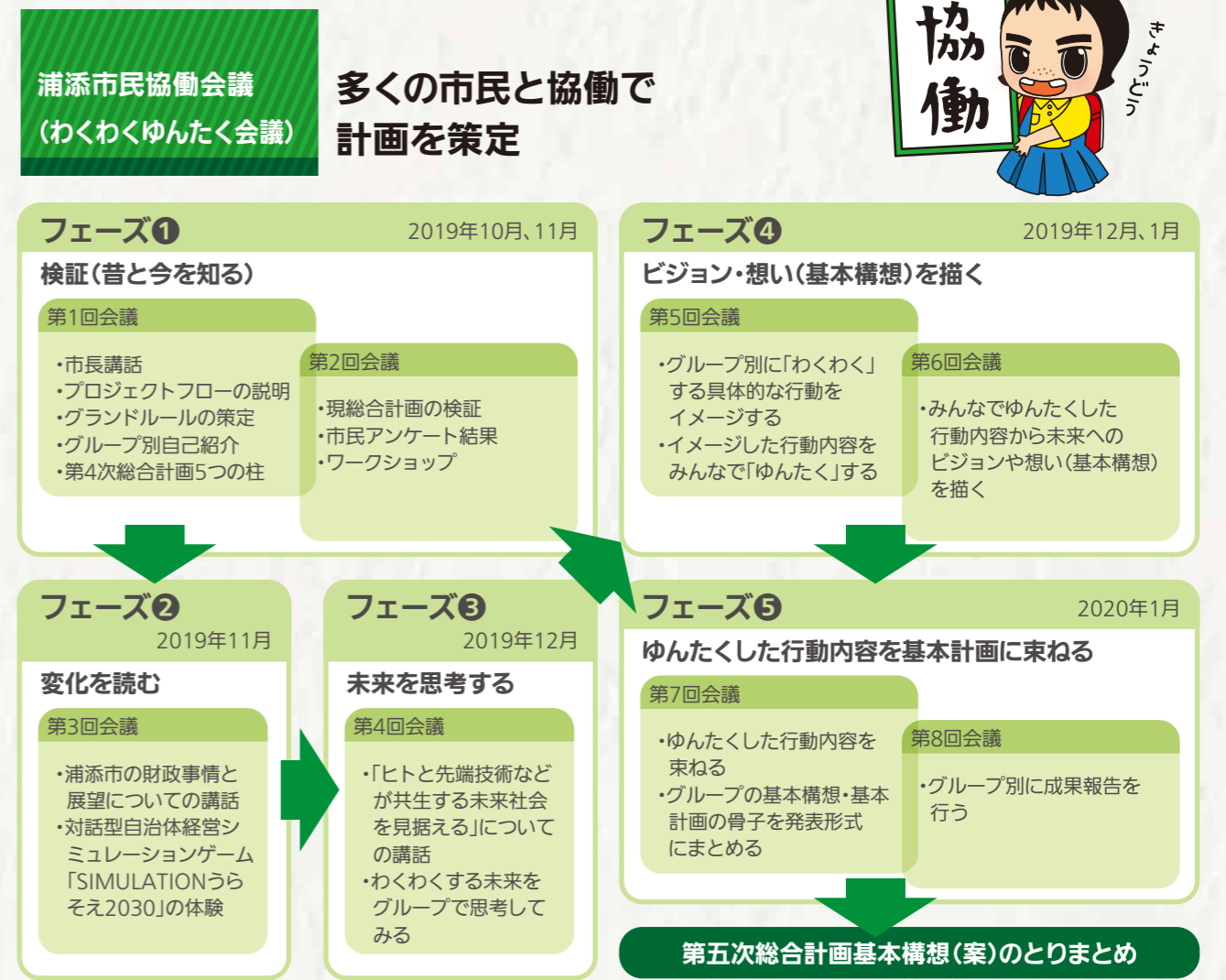
行財政運営を取り巻く環境は厳しい状況が続く中、質の高い行政サービスを展開していくためには、市民にとって必要性の高い施策・事業へ重点的に資源を配分していく視点が求められています。

また、将来世代に負担を残さないために、公共施設の適正管理に努めながら施設の長寿命化と再配置にも取り組む必要があります。

まちづくりの主役は私だということを、市民一人ひとりが意識し、市民自らがまちづくりに参画することで、「自分の地域は自分でつくること」が実感でき、愛着もわく「地域共生社会」の実現につながります。

そのため、まちづくりの主体である市民（自治会、NPO、企業等）と行政の協働体制を確立し、課題解決の小さな輪を重ね合うことで、連携する仲間と大きな輪となって、地域の価値の創造につなげるとともに、多様性を認め合う社会をめざします。

また、市民サービスの向上や持続的で計画的な行政運営を進めるなど、まちづくり協働社会の実現と適切な行政運営を推進する、「ひと・まち・未来が輝く市民協働都市」をめざします。



本市の基本理念、都市像、まちづくりの目標の実現に向けて、5つのまちづくりの方向性となる政策と施策を体系的に構築して取り組んでいきます。

政策 1

人と歴史を
活かす
未来創造
都市

- 施策1-1 産業振興
- 施策1-2 観光振興
- 施策1-3 就業・労働
- 施策1-4 西海岸地域の開発
- 施策1-5 土地区画整理・市街地・住環境・基地跡地利用
- 施策1-6 道路・交通体系
- 施策1-7 上下水道

政策 2

世界に
はばたく
多文化
交流都市

- 施策2-1 就学前教育・保育
- 施策2-2 学校教育
- 施策2-3 青少年健全育成
- 施策2-4 社会教育
- 施策2-5 スポーツ
- 施策2-6 文化芸術
- 施策2-7 文化財
- 施策2-8 国際交流・多文化共生・世界平和

政策 3

やさしさ
あふれる
健康福祉
都市

- 施策3-1 地域福祉
- 施策3-2 健康増進
- 施策3-3 子ども・子育て支援
- 施策3-4 高齢者福祉
- 施策3-5 障がいのある人の福祉
- 施策3-6 公共サービス(生活支援・国民年金・医療費助成等)

政策 4

安心安全で
やすらぎに
みちた
快適環境
都市

- 施策4-1 防災・減災
- 施策4-2 消防・救急
- 施策4-3 地域防犯・交通安全・消費者安全
- 施策4-4 みどり(緑)・自然(海・川)
- 施策4-5 景観まちづくり
- 施策4-6 環境保全
- 施策4-7 循環型社会・生活排水

政策 5

ひと・まち・
未来が輝く
市民協働
都市

- 施策5-1 まちづくり協働
- 施策5-2 地域コミュニティ活動
- 施策5-3 人権・男女共同参画社会
- 施策5-4 広報・広聴・個人情報保護
- 施策5-5 スマート自治体
- 施策5-6 行財政運営

～太陽と緑に
あふれた
国際性ゆたかな
文化都市～

次のページからは、
市民一人ひとりと
総合計画の関係を
見ていくよ！

その① シニア(65歳

以上)のいる世帯 編

まちづくり(都市基盤)の分野



交通結節機能の強化

都市幹線公共交通(沖縄都市モノレールや基幹バス等)と連携させた支線公共交通(コミュニティバスやシェアサイクル等)の導入により、市民の生活を支えるラストワンマイルの拡充を図るとともに、駅周辺まちづくりと一体となり交通結節機能の強化を図ります。

主に既存市街地は都市機能の回復と強化、道路・交通体系は利便性の向上等をめざしていきます。

今後5年間の主な取り組み

- 1-5 土地区画整理・市街地・住環境・基地跡地利用
 - 1-5-1 魅力ある市街地の創造
- 1-6 道路・交通体系
 - 1-6-1 道路・交通体系の整備
 - 1-6-2 幹線道路の整備
 - 1-6-3 生活道路の整備及び管理
 - 1-6-4 道路・交通施設の安全性・快適性の確保
- 4-5 景観まちづくり
 - 4-5-1 歴史と未来が織りなす美しいまちの形成



浦添市在宅医療・介護連携支援センター
URASSHII
(うらっしー)

医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、在宅医療と介護を一体的に提供するために、関係機関等からの相談に対応する窓口を設置し、地域における医療機関と介護サービス事業所などの関係者の連携を推進しています。

主に地域福祉活動の充実を図るとともに、保健、医療及び福祉の連携による総合的なサービス提供体制の整備に努めていきます。

シニア(65歳以上)のいる世帯
に向けた
今後5カ年の主な
取り組み内容を
分野別に見てみよう!



地域福祉の分野

今後5年間の主な取り組み

- 3-1 地域福祉
 - 3-1-1 地域保健福祉活動の充実
 - 3-1-2 保健、医療、福祉サービス体制の整備・充実
- 3-4 高齢者福祉
 - 3-4-1 地域福祉サービス・介護予防の充実
- 3-6 公的サービス(生活支援・国民年金・医療費助成等)
 - 3-6-1 低所得者福祉の充実
- 2-8 国際交流・多文化共生・世界平和
 - 2-8-2 多文化共生社会の形成と国際交流・国際協力の推進



生きがいつくりの分野

高齢者向けの学びの機会 「てだこ学園大学院」

学びを通じたシニアの仲間づくり・生きがいつくりの場として、昭和63年に開校しました。これまでに、延べ1,210名の卒業生(2021(令和3)年2月現在)を輩出しています。大学院の卒業生は、地域のリーダーとして活躍する傍ら、てだこ学園大学院の運営陣としても学習計画や行事等の実施に携わるなど学びの循環を構築しています。応募資格は、浦添市内在住の概ね60歳以上の方で、受講期間は2年制となっています。



主に健康増進や社会教育、雇用環境等の市民の生きがいつくりを応援する取り組み等を進めていきます。

今後5年間の主な取り組み

- 3-4 高齢者福祉
 - 3-4-2 社会参加と生きがいの創出
- 3-2 健康増進
 - 3-2-1 健康増進体制の充実
 - 3-2-2 健康増進サービスの充実
- 2-4 社会教育
 - 2-4-1 多様な価値観に対応した社会教育の推進
- 2-5 スポーツ
 - 2-5-1 多様なスポーツの総合的な推進
- 1-3 就業・労働
 - 1-3-1 雇用機会の創出と就労等の支援

市民協働・地域とのつながりの分野



愛の声かけ運動

行政をはじめ家庭・学校・地域社会・企業・各種団体、そして市民一人ひとりがそれぞれの立場で「愛の声かけ運動」を推進しています。

主に地域コミュニティ活動を基盤にした住民の自主的・積極的なまちづくり活動等を支援しながら、取り組み等を進めていきます。

今後5年間の

主な取り組み

- 5-1 まちづくり協働
 - 5-1-2 市民参画機会の拡充とまちづくり協働の推進
- 5-2 地域コミュニティ活動
 - 5-2-1 地域コミュニティ活動の拡充
 - 5-2-2 地域・まちづくりへの参画の促進
- 4-1 防災・減災
 - 4-1-1 地域防災対策等の充実
- 4-3 地域防犯・交通安全・消費者安全
 - 4-3-1 交通安全対策の推進
 - 4-3-3 消費生活の安定と向上
- 4-4 みどり(緑)・自然(海・川)
 - 4-4-3 花と緑のまちづくり
 - 4-4-4 川と海の魅力づくり
- 2-2 学校教育
 - 2-2-4 地域とともにある学校づくりの推進
- 2-3 青少年健全育成
 - 2-3-1 児童や青少年の居場所づくり
- 2-7 文化財
 - 2-7-2 歴史と文化のいきづつまちづくり



その② 乳幼児のいる 世帯 編

働き方の分野



浦添市と沖縄労働局との雇用対策協定の締結

浦添市と国(沖縄労働局・ハローワーク那覇)は、市が行う産業・雇用施策、生活・福祉施策、その他の地域活性化に関する施策と、労働局における職業相談・職業紹介、その他の雇用に関する施策とが、密接な関連のもとに円滑かつ効果的に実施されるよう、それぞれの施策について一体的に進めていくための連携・協力の内容などを定め、浦添地域の雇用対策に協働して取り組むことを目的に、「浦添市雇用対策協定」を締結しました。

主に官民が連携して市民の雇用機会の創出を図りながら、仕事と家事の両立に向けた周知等、多様な働き方を支える取り組み等を進めていきます。

今後5年間の主な取り組み

- 1-3 就業・労働
 - 1-3-1 雇用機会の創出と就労等の支援
 - 1-3-2 多様な働き方を支える環境整備
- 5-3 人権・男女共同参画社会
 - 5-3-2 人権・男女共同参画社会を実現する環境整備

てだこキッズファースト宣言



「てだこキッズファースト宣言」は、「てだこキッズファースト宣言実行委員会」が呼びかけ、一人ひとりの大人としてのキッズファースト(こどもの幸福を最優先する)という自覚を確認し、こどもたちの笑顔あふれるまちづくりを進めることを宣言するという趣旨で、平成27年8月9日に宣言しました。市民一人ひとりが地域のことを考え、課題を共有し、課題解決のために行動を起こすことの意義は大きいものと考えます。このキッズファーストの思いを絶やさぬよう、市民、行政、それぞれの視点から『こどもの幸福を最優先する』とは何かを考え、共に「てだこキッズファースト」に取り組んでいきましょう。

子どもを主役に、の視点で、主に妊娠、出産、育児期において切れ目のない支援が行えるよう、各種の取り組み等を進めていきます。

乳幼児のいる世帯
に向けた
今後5カ年の主な
取り組み内容を
分野別に見てみよう！



母子保健、子ども・子育て支援の分野

今後5年間の主な取り組み

- 3-2 健康増進
 - 3-2-1 健康増進体制の充実
 - 3-2-2 健康増進サービスの充実
- 3-3 子ども・子育て支援
 - 3-3-1 地域ぐるみの子育て支援の充実
 - 3-3-2 児童・子育て家庭への支援の充実
 - 3-3-3 多様な保育サービスの充実
- 3-6 公的サービス(生活支援・国民年金・医療費助成等)
 - 3-6-2 母子・父子及び寡婦世帯福祉の充実
- 2-1 就学前教育・保育
 - 2-1-1 身近な地域での教育・保育の提供
 - 2-1-2 乳幼児期の健やかな成長をうながす教育・保育の充実
 - 2-1-3 就学前教育・保育を支える人材の確保・育成
 - 2-1-4 地域との連携を生かした教育・保育施設づくりの推進
- 5-5 スマート自治体
 - 5-5-1 スマート自治体の構築



子育てに適した環境の分野

浦添市里浜の保全及び促進に関する条例

カーミージー周辺の海を保全、活用するために県内初となる里浜条例「浦添市里浜の保全及び促進に関する条例」を2018(平成30)年4月1日に施行しています。市民一人ひとりが行動し、「里浜づくり」を通して「みんなでつなぐ里浜」としての関係構築に努めながら、「みんなの憩いの場」として活用していきます。



主に安全・安心で、子育てにも適した自然環境の保全等の取り組み等を進めていきます。

今後5年間の主な取り組み

- 4-3 地域防犯・交通安全・消費者安全
 - 4-3-2 防犯対策の推進
- 4-4 みどり(緑)・自然(海・川)
 - 4-4-2 魅力ある公園づくり
 - 4-4-4 川と海の魅力づくり
- 4-5 景観まちづくり
 - 4-5-2 快適でうるおいのあるやさしいまちの形成
- 4-6 環境保全
 - 4-6-1 環境にやさしいまちづくりの推進

市民協働・地域とのつながりの分野



自治会による子育て支援

自治会にとって子どもは文字通り「地域の宝」です。季節ごとの行事や交流事業、地域の風土と特性を活かしたユニークな活動を通して、子どもたちの笑顔あふれる、暮らして楽しい地域づくりに努めます。

主に地域コミュニティ活動を基盤にした住民の自主的・積極的なまちづくり活動等を支援しながら、取り組み等を進めていきます。

今後5年間の

主な取り組み

- 5-1 まちづくり協働
 - 5-1-2 市民参画機会の拡充とまちづくり協働の推進
 - 5-1-3 ボランティア団体やNPO等の活動の支援
- 5-2 地域コミュニティ活動
 - 5-2-1 地域コミュニティ活動の拡充
 - 5-2-2 地域・まちづくりへの参画の促進
- 4-1 防災・減災
 - 4-1-1 地域防災対策等の充実
- 4-2 消防・救急
 - 4-2-1 消防体制の整備・拡充
- 4-3 地域防犯・交通安全・消費者安全
 - 4-3-1 交通安全対策の推進
- 4-5 景観まちづくり
 - 4-5-1 歴史と未来が織りなす美しいまちの形成



その③ 中学生のいる 世帯 編

子ども・子育て支援、公的サービスの分野



ただこ未来塾
もっと勉強したいけど、経済的な理由などにより塾に通うことが困難な中学生を対象に浦添市が無料塾を行なっています(中学3年生優先)※証明書等の提出が必要な場合があります。

主に、世帯の実態に即した生活支援施策の実施に努める等、多様なニーズに対応する取り組み等を進めていきます。

今後5年間の主な取り組み

- 3-3 子ども・子育て支援
 - 3-3-1 地域ぐるみの子育て支援の充実
- 2-3 青少年健全育成
 - 2-3-1 児童や青少年の居場所づくり
- 3-6 公的サービス(生活支援・国民年金・医療費助成等)
 - 3-6-1 低所得者福祉の充実
 - 3-6-2 母子・父子及び寡婦世帯福祉の充実
- 1-3 就業・労働
 - 1-3-1 雇用機会の創出と就労等の支援
 - 1-3-2 多様な働き方を支える環境整備

学校教育、国際交流・多文化共生・世界平和、環境学習の分野



平和の尊さを継承する「浦添市中学生平和交流事業」

浦添市中学生平和交流事業は、本市の平和行政の柱となっている「平和都市宣言」「核兵器廃絶宣言」の精神を高めるため、市内中学生等から成る「浦添市中学生平和交流団」を結成し、戦争及び平和について研修を行います。研修は平和を希求する心を培い、次世代への平和の尊さを継承していくことのできる人材育成を目的としており、参加した中学生は、研修で学んだことを生涯学習イベント「まなびフェスタ」において発表し、平和への想いを広く発信しています。

これからの社会をたくましく生き抜くことができるよう、主に基礎的な知識や技能、豊かな人間性や健康な体を育めるよう各種の取り組み等を進めていきます。

今後5年間の主な取り組み

- 2-2 学校教育
 - 2-2-1 確かな学力の向上と生きる力をはぐくむ教育の充実
 - 2-2-2 豊かな心と限りない創造性をはぐくむ教育の充実
 - 2-2-3 質の高い学校教育のための教育環境の整備・拡充
 - 2-2-5 多様なニーズに対応する教育の推進
- 2-4 社会教育
 - 2-4-2 「地域学校協働活動」による学校教育のさらなる充実
- 2-8 国際交流・多文化共生・世界平和
 - 2-8-1 友好都市との交流促進
 - 2-8-2 多文化共生社会の形成と国際交流・国際協力の推進
 - 2-8-3 南米移住者「架け橋」となるさらなる交流
 - 2-8-4 世界平和への貢献
- 4-6 環境保全
 - 4-6-1 環境にやさしいまちづくりの推進



**中学生のいる世帯
に向けた
今後5カ年の主な
取り組み内容を
分野別に見てみよう！**



文化芸術、スポーツの分野

**組踊おでかけ
ワークショップ**

国立劇場おきなわと連携して、沖縄の伝統芸能を身近に感じられるよう、小中学校を対象に「組踊おでかけワークショップ」を開催しています。児童生徒にわかりやすく解説し、即興組踊の体験等もあり、終了後は「国立劇場で組踊を鑑賞してみたい!!」という声も寄せられています。



主に、芸術・芸能・音楽やスポーツ・レクリエーション活動、青少年の育成等の活動メニューについて、取り組み等を進めていきます。

今後5年間の主な取り組み

- 2-6 文化芸術
 - 2-6-1 浦添らしい特色ある文化芸術活動の推進
 - 2-6-2 文化施設の活用と連携
- 2-3 青少年健全育成
 - 2-3-2 青少年団体活動の促進
- 2-5 スポーツ
 - 2-5-1 多様なスポーツの総合的な推進
 - 2-5-2 スポーツ環境の整備・充実

市民協働・地域とのつながりの分野



**JICA研修員との交流
「ふれあい講座」の開催**

市民の国際理解促進を目的として、国際協力機構沖縄センター(JICA沖縄)と浦添市国際交流協会が共同で「ふれあい講座」を実施しています。JICA研修員や県出身の海外協力隊経験者等が講師となって出身国・派遣国の生活や文化を紹介したり、ゲームや音楽を通じて参加者と交流するプログラムです。毎回多くの市民が参加し、国際理解や国際協力への理解を深める機会となっています。

主に地域コミュニティ活動を基盤にした住民の自主的・積極的なまちづくり活動等を支援しながら、取り組み等を進めていきます。

今後5年間の 主な取り組み

- 5-2 地域コミュニティ活動
 - 5-2-1 地域コミュニティ活動の拡充
 - 5-2-2 地域・まちづくりへの参画の促進
- 4-1 防災・減災
 - 4-1-1 地域防災対策等の充実
- 4-2 消防・救急
 - 4-2-1 消防体制の整備・拡充
- 4-3 地域防犯・交通安全・消費者安全
 - 4-3-2 防犯対策の推進
 - 4-3-3 消費生活の安定と向上
- 4-4 みどり(緑)・自然(海・川)
 - 4-4-3 花と緑のまちづくり
 - 4-4-4 川と海の魅力づくり
- 2-2 学校教育
 - 2-2-4 地域と共にある学校づくりの推進
- 2-7 文化財
 - 2-7-2 歴史と文化のいきづくまちづくり



その④ 障がいのある 人がいる世帯 編

子ども・子育て支援、公的サービスの分野



パーミシング・パーミット制度
障がい者・妊産婦など「移動に配慮が必要」な方のために、地域の協力施設で使える利用認定書を交付する「パーミシング・パーミット制度」を導入しています。

主に就労支援と職業能力の向上の支援や、バリアフリー化等の取り組み等も進めていきます。

今後5年間の主な取り組み

- 1-3 就業・労働
 - 1-3-1 雇用機会の創出と就労等の支援
- 5-3 人権・男女共同参画社会
 - 5-3-1 人権・男女共同参画社会の視点に立った意識改革の推進
- 3-1 地域福祉
 - 3-1-2 保健、医療、福祉サービス体制の整備・充実
- 1-6 道路・交通体系
 - 1-6-4 道路・交通施設の安全性・快適性の確保



浦添市障がい福祉 関連複合施設 「ピアラルうらそえ」

令和3年4月にオープンする「障がい福祉関連複合施設(ピアラルうらそえ)」は、児童発達支援センター、障がい者(児)基幹相談支援センターなどの機能を有する県内初の一体型複合施設です。基本コンセプトとして、障がい者(児)に対する幼少期から成人期までの一貫性のある継続支援及び地域の相談支援強化を目指して、中核的な福祉支援機関として整備しており、「浦添市の障がい者(児)が安心して通え、相談できる場」、「浦添市の障がい者(児)を、みんなで「支える」体制を構築する場」等への期待に応えていきます。

主に就労支援と職業能力の向上の支援や、バリアフリー化等の取り組み等も進めていきます。

障がいのある人がいる世帯
に向けた
今後5カ年の主な
取り組み内容を
分野別に見てみよう！



障がい福祉の分野

今後5年間の主な取り組み

- 3-5 障がいのある人の福祉
 - 3-5-1 自立した日常生活の支援・社会参加の促進
 - 3-5-2 介護・訓練等給付の充実
 - 3-5-3 福祉施設の充実
- 3-1 地域福祉
 - 3-1-1 地域保健福祉活動の充実
 - 3-1-2 保健、医療、福祉サービス体制の整備・充実
- 3-2 健康増進
 - 3-2-1 健康増進体制の充実
 - 3-2-2 健康増進サービスの充実
- 3-3 子ども・子育て支援
 - 3-3-3 多様な保育サービスの充実



教育、スポーツ分野

サン・アビリティーズ うらそえ

スポーツや文化活動を通じ、機能回復・健康増進にむけ、教養文化の向上及びスポーツ・レクリエーションの場として設置したものです。また、一般市民の方にもご利用いただき、障がい者との交流、スポーツ・教養文化・コミュニティ活動がより一層盛んになる事を目的としています。



学ぶ意欲や豊かな心を育むこと、心身の健康増進等の取り組み等も進めていきます。

今後5年間の主な取り組み

- 2-1 就学前教育・保育
 - 2-1-2 乳幼児期の健やかな成長をうながす教育・保育の充実
- 2-2 学校教育
 - 2-2-1 確かな学力の向上と生きる力をはぐくむ教育の充実
 - 2-2-3 質の高い学校教育のための教育環境の整備・拡充
- 2-5 スポーツ
 - 2-5-1 多様なスポーツの総合的な推進
 - 2-5-2 スポーツ環境の整備・充実

市民協働、地域とのつながりの分野



宮城自治会での 防災避難訓練の様子

「地域の人が安全で安心して暮らせる地域にしていきたい」という思いから、自主防災組織を宮城自治会では立ち上げ、防災避難訓練には、災害時要援護者(障がいをもつ人や一人暮らしのお年寄り)の方々にも参加をしてもらい、地域での見守り体制作りに取り組んでいます。

主に地域コミュニティ活動を基盤にした住民の自主的・積極的なまちづくり活動等を支援しながら、取り組み等を進めていきます。

今後5年間の 主な取り組み

- 5-1 まちづくり協働
 - 5-1-2 市民参画機会の拡充とまちづくり協働の推進
 - 5-1-3 ボランティア団体やNPO等の活動の支援
- 5-2 地域コミュニティ活動
 - 5-2-1 地域コミュニティ活動の拡充
 - 5-2-2 地域・まちづくりへの参画の促進
- 4-1 防災・減災
 - 4-1-1 地域防災対策等の充実
- 4-3 地域防犯・交通安全・消費者安全
 - 4-3-1 交通安全対策の推進
- 4-5 景観まちづくり
 - 4-5-1 歴史と未来が織りなす美しいまちの形成



浦添市版 総合計画とSDGsの一体的な推進表



誰一人として
取り残さない
社会に向けて取り組みを
進めるよ！



実施分野		ゴール						
		1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
政策1	産業振興		○				○	
	観光振興		○				○	
	就業・労働	○		○		○		
	西海岸地域の開発	○						
	土地区画整理・市街地・住環境・基地跡地利用	○					○	
	道路・交通体系							
	上下水道			○			○	
政策2	就学前教育・保育	○		○	○	○		
	学校教育	○		○	○	○		
	青少年健全育成	○		○	○	○		
	社会教育			○	○	○		
	スポーツ			○				
	文化芸術				○			
	文化財				○			
	国際交流・多文化共生・世界平和	○		○	○	○		
	地域福祉	○		○	○			
	健康増進		○	○		○		
政策3	子ども・子育て支援	○	○	○	○	○		
	高齢者福祉			○				
	障がいのある人の福祉	○		○	○			
	公的サービス(生活支援、国民年金、医療費助成等)	○	○	○		○		
	防災・減災					○		
政策4	消防・救急							
	地域防犯・交通安全・消費者安全			○	○	○		
	みどり(緑)・自然(海・川)					○		
	景観まちづくり							
	環境保全				○		○	○
	循環型社会・生活排水			○			○	○
	まちづくり協働				○			
政策5	地域コミュニティ活動				○			
	人権・男女共同参画社会	○	○	○	○	○		
	広報・広聴・個人情報保護							
	スマート自治体							
	行財政運営					○		

第五次浦添市総合計画・前期基本計画の内容は、国際社会全体の開発目標であるSDGsのめざす17の目標(ゴール)と規模こそ違うものの、そのめざすべき方向性は同じです。

そのため、SDGsの目標を踏まえて、持続可能な地域社会づくりに取り組んでいくため、基本計画の施策分野ごとに関連する主な目標を関連付けて、一体的な推進をしていきます。

また、国が定期的に策定する「SDGsアクションプラン」や「沖縄SDGs実施指針」等の進捗状況も必要に応じて参考としながら、取り組んでいきます。

実施分野		ゴール													
		8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさを守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナースHIPで目標を達成しよう				
政策1	産業振興	○	○		○			○							○
	観光振興	○	○		○							○			○
	就業・労働	○		○											○
	西海岸地域の開発	○										○	○		○
	土地区画整理・市街地・住環境・基地跡地利用		○								○				○
	道路・交通体系		○							○					○
	上下水道		○							○	○				○
政策2	就学前教育・保育			○											○
	学校教育			○											○
	青少年健全育成			○											○
	社会教育			○											○
	スポーツ														○
	文化芸術	○						○							○
	文化財	○						○	○				○		○
	国際交流・多文化共生・世界平和	○													○
	地域福祉	○													○
	健康増進										○				○
政策3	子ども・子育て支援														○
	高齢者福祉														○
	障がいのある人の福祉	○													○
	公的サービス(生活支援、国民年金、医療費助成等)	○													○
	防災・減災										○				○
政策4	消防・救急										○				○
	地域防犯・交通安全・消費者安全								○						○
	みどり(緑)・自然(海・川)								○	○	○	○	○		○
	景観まちづくり								○		○	○	○		○
	環境保全								○	○	○	○	○		○
	循環型社会・生活排水								○	○	○	○	○		○
	まちづくり協働								○						○
政策5	地域コミュニティ活動							○							○
	人権・男女共同参画社会	○	○	○	○	○									○
	広報・広聴・個人情報保護									○					○
	スマート自治体									○					○
	行財政運営														○